

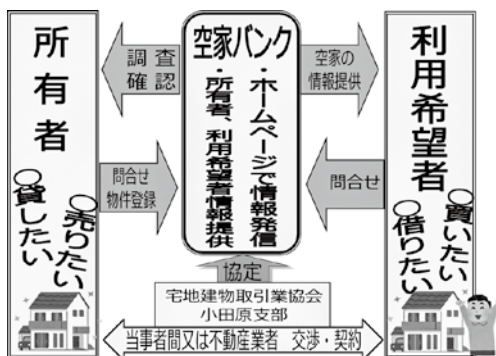
# 空き家対策強化と 関係人口創出事業を問う



質問者  
寺嶋 正 議員



(1) 空き家は増加傾向にあるが、民間団体と連携して空き家の発生を抑え、有効活用を進める仕組みづくりを伺う。また、実態調査、所有者等の調査、空き家バンク制度の活用や空き家の居住希望者と不動産業・所有者とのマッチングを支援する取り組みは。



## 空き家の利活用を 促進する移住相談所 設立

回答 (町長)



(2) 関係人口創出事業では、地域と様々な形で関わる人々を増やし、まちづくりの課題に関わることでできる仕組みを作るとされており、地域の活性化を担う人材や移住・定住人口の増加などをめざす取り組みと成果について伺う。

(1) 県司法書士会、町社会福祉協議会、県宅地建物取引業協会と連携し、空き家の発生予防として啓発用リーフの作成や空き家予防講演会を実施。実態調査及び居住希望者や所有者とのマッチング支援は、「空き家対策モデル事業」により、利活用を促進する「移住相談所」を設立。  
空き家は139軒あるので、予防対策を役場内のワーキングチームで取り組む。  
(2) 地域の魅力を紹介し、耕作放棄地などの課題解決に向けた意見交換を行うツアアや、寄地区の自然環境を活かした動画作成など実施。  
令和4年度は、町の魅力をテーマにしたワークショップや地域の森林資源を活用したイベントを予定。自然環境、人材、景観等の地域資源を十分に活用し人口増加策に取り組む。

# 松田町のICT・DXの推進、 新松田駅周辺整備事業について



質問者  
井上 栄一 議員



来年度予算編成について、各事業の具体化に向けた予算編成が進められていると思われま。そこで、次の項目について伺います。  
(1) 国の自治体DX推進計画が示され、県内市のいくつかは住民のためのICT・DX行政を推進している。町のICT・DXの推進構想・計画・考え方、来年度に向けた施策について伺います。  
(2) 新松田駅周辺整備事業は準備組合設立を目指し地権者検討会で事業説明・検討が行われていますが、いまだ駅周辺整備に対する地権者の個別の意向・考え方が見えていません。再開発区域の範囲決定や準備組合設立に

## DXの推進・ 新松田駅周辺整備事業 について

回答 (町長)



(1) DX行政は民間の対

応を考え官民連携でやっていかないと進まない。町民サービスの向上を目指す中でどのような仕組みを導入するかは町民サービスの充実を図って協議会を立ち上げ修正しながら随時諮っていく。  
(2) 駅周辺整備事業の進捗は、新型コロナウイルスや国際社会での経済的な影響がある中、地権者や公共交通事業者はもとより町民や商工業者など多くの関係者にご協力を賜りながら、これまで通り事業の完遂に向け強い信念を持って取り組んでいく。  
今後の準備組合・本組合の設立、都市計画決定などは、皆様方のご意見をもちに進めていくという姿勢は今後も変えない。

DX (デジタルトランスフォーメーション) とは

デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革することを指す。